

学び合う!わが子の子育て、親子の絆

気づいていますか? 子どものSOSサイン!

子どものサインを見逃さない! そんな親子関係を築くために…困ったときに相談できる人間関係づくり…

いじめや不登校につながる悩みなど、子どもが心の問題を抱えたとき、家庭の中で子どものSOSやストレスサインに早く気づくことで、問題行動の早期対応・未然防止につながるケースもあります。学校や関係機関等へ早めの相談や、何でも話し合えるような日頃からの親子関係を築くことが大切です。また、日頃から保護者同士で相談し合えるネットワークも重要になってきます。

「親育ち応援学習プログラム」(親プロ)

これから親になる若い世代の方から、現在、子育て最中の方、そして孫育て世代の方まで、幅広い世代の方を対象にした「親育ち」を応援するために岡山県が開発した参加体験型の学習プログラムです。



Ⅲ-2 子どもの規範意識ってどうやって育てるの?

【ケース例】
小学校4年生の息子は、カードゲームに夢中。学校から帰ってきて観さえあれば友達とカードを持ち帰って遊んでいます。
ある日、息子がカードを隠さしたまま遊びに出かけてしまい、見るに見かねて片付けることにしました。その数の多さに驚かされるがらもよく見てみると、買った見えないものがあることに気づきました。息子は、友達とのトラブル回避のためカードをあげたりもらったりしない約束をしていたはずなのに…
驚かされて、話を聞いてみると、やはり、友達同士でカードをあげたりもらったりしていました。息子は、いけないことだと分かっていながらも、仲良しの友達が数多くこのようないやみをしているのを見ていううちに、我慢できず約束を破ってしまったようです。また、友達の中には、子どもたちが店に行きカードを購入したり、子ども同士でも売買したりしている者もいて、トラブルが起きていることもわかりました。
息子に対してどのような対応をしたらよいのでしょうか。

ケース1

あなたがこのエピソードの中で

エピソードや資料などをもとに、参加者が互いに感じたことや経験を出し合います。



友達は「文房具の店」で買われておいたカードを、友達みんながやっているからついつい…、友達みんながやっているから、自分もやらないと仲間はずれにされてしまうと思った。

ケース2

このエピソードと似たような経験を語り合ってみましょう。(お子さんのエピソードでも、あなた自身が子どもの頃のエピソードでもどちらでもかまいません)

あなたのお子さんのエピソード	あなた自身が子どもの頃のエピソード
話す内容	話す内容
・どのような出来事? ・保護者としてどのように対応した? ・保護者として考えさせられたことは? など	・どのような出来事? ・あなたの保護者の対応で心に残っていることは? ・あなたが考えたことは? など

互いに意見を出し合いながら、学習を進めていきます。

ケース3

家で約束やルールをつくる時に気を付けていることはどのようなことですか。また、お子さんがその約束やルールを大切に思い、守っていただけるようにするためにどのようなことをしていますか。

あなた

【つくる時】

【大切に思い守る時】

グループ

直接書き込むことができます。

資料1

ルールって、だれのためにあるんだろう。
子どもたちは、家庭でのルールや約束を守ったり破ったりしながら、人と関係の在り方や社会のルールを学んでいきます。家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活のルールもあれば、他人に迷惑をかける、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。しつこく一貫性を持ってルールを守らせることが大切です。一緒にルールを聞いて一緒にルールを守ることが大切です。

資料2



振り返り

子どもの規範意識を育てるために取り組んでみようと思ったことを書いてみましょう。

子育てや親としての役割を互いに交流しながら楽しく学びませんか?

「親プロ」で学び合うことで、子どもへの接し方や家庭での対応について考えるきっかけにもなります。

「親プロ」はこのような場面で活用されています。



親子で子育て講座に参加し交流している様子



学級懇談会で、テーマについて話し合いをしている様子



PTA研修会で、和やかな雰囲気づくりのためにゲームをしている様子

イライラしたり、大変なのは自分だけじゃないんだと気づき、少し安心しました。いろいろな考えに触れられてよかったです。

「親プロ」で気づきふいける自分の子育て!

